

球磨支援 防災だより



熊本県立球磨支援学校
令和5年(2023年)12月
第2号
文責：防災主任

○防災教育公開授業を実施しました

本校は、令和4年度から「学校安全総合支援事業」の拠点校として学校安全・防災教育の充実に取り組んでいます。その一環として、10月13日(金)に小学部1・2年生のクラスで防災教育公開授業を実施しました。

今回の授業では、雨に焦点を当て「みんなで防災やってみよう!~雨が降ったらどうするの?~」というテーマで学習を行いました。雨の日や晴れの日の空の様子、天気を表す言葉やマークに触れる中で、天気に興味をもったり、雨が降ったときに使うと便利な雨具(傘、雨合羽、長靴)についてクイズをしながら考えたりすることができました。みんなで体験をしながら楽しく学習することができました。

授業後の合評会では、防災教育で大切にしたいこと「3つの防災教育(楽しく、ためになる、試したくなる)」についてお話をいただきました。“防災教育は特別なものではなく、生活の一部である”という視点を大切にしながら、今後も防災教育に取り組んでいきたいと思えます。



雨の日に使う道具をクイズで選びました。



傘の持ち方を確認しながら教室を歩きました。



○防災教育公開避難訓練(地震)を実施しました

11月10日(金)に、公開避難訓練(地震)を実施しました。実践的な避難訓練ということで、今回の避難訓練では、想定を震度5弱とし、倒壊箇所があり、校内に残留者がいるという想定で実施しました。

避難時は、棚やガラスが割れている箇所を見つけると、声を掛け合いながら周囲に危険を知らせ、より安全な避難経路を皆んなで判断しながら避難する姿が見られました。また、残留者の救護や人員把握など、職員間で連携しながら避難をすることができました。

訓練後の合評会では、参観者からたくさんの御意見をいただき、様々な時間帯に訓練を実施することの大切さや、教室や廊下などの安全性について改めて考える機会となりました。



球磨支援学校の先生たちに聞きました!

『おしえて、あなたの備え!』



☆ベッド横にスリッパや懐中電灯を置いています。

☆2日分の避難グッズを車に入れてあります。(着替え、歯ブラシ、簡易トイレ袋など)

☆ウォーターサーバーを購入しました。